



## コンベンション施設整備基本計画【概要版】

### 1 趣旨

本計画は、「乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画（QURUWA 戦略。2018年3月策定）」並びに「岡崎市観光基本計画アクションプラン（2017年3月策定）」等の主要なまちづくり計画に基づき、太陽の城跡地（岡崎市明大寺本町一丁目地内）を有効利用し、民間の資金やノウハウを活かした公民連携により整備を目指すコンベンション施設等の整備に関する基本的な方針等を示すものです。

（主な上位計画・関連計画）

- QURUWA 戦略**・・・QURUWA プロジェクトの一つとして、コンベンション施設、ホテル、リバーベースの一体的整備による来街者の滞在・活動と市民が都市空間を楽しむまちづくり拠点の創出を公民連携により推進する旨を明記
- 観光基本計画アクションプラン**・・・乙川リバーフロント地区を活かした観光振興を重点プロジェクトとして掲げつつ、これを推進する施策として、コンベンション施設の整備やホテルの誘致を明記
- 立地適正化計画**・・・本事業用地を含む東岡崎駅周辺を都市機能誘導区域に指定するとともに、コンベンション機能、ホテル機能、飲食機能などのにぎわい交流施設の誘導を明記

### 2 基本コンセプト

#### 「まち・ひと・かわ を結ぶ 交流拠点」

- まち**・・・都市、景観、歴史、文化
  - ひと**・・・市民、事業者、来街者
  - かわ**・・・乙川、河川区域、河川空間
  - 交流**・・・仕事交流、観光交流、健幸交流
- ※「健幸」とは、本市が加入する「スマートウエルネスシティ首長研究会」推奨の造語です。



### 3 基本目標

#### ◆基本目標 1 「コンベンション機能を活かした観光産業都市の創造」

- ◎ 仕事づくり、仕事交流、経済・学術・文化等の交流を推進します。
  - ◎ コンベンション施設等を活用した「MICE」の取り組みを推進します。
- ※「MICE(マイス)」とは、国際的な会議や学会、見本市などの総称。Meeting（会議）、Incentive travel（報奨旅行）、Convention（国際会議）、Exhibition（展示会）の頭文字。観光よりも滞在時間が長く経済効果が高いとされています。政府が国内への誘致を推進しています。

#### ◆基本目標 2 「仕事・暮らし・健幸を応援する生きがい交流空間の創造」

- ◎ 本市にかかわる様々な人々の仕事・暮らし・健幸を応援します。
- ◎ コンベンション施設等の特長を活かして、都市の魅力向上を図ります。

#### ◆基本目標 3 「乙川エリアの価値を高める魅力的な都市空間の創造」

- ◎ コンベンション施設等の整備効果を乙川エリア全体の価値向上につなげます。
- ◎ 市民・民間・行政等の多様なまちづくり主体が活躍する公民連携による都市経営を推進します。

### 4 本事業用地

所在地	明大寺本町一丁目 1-1 外 2 筆	明大寺本町一丁目 22
土地所有者	岡崎市	岡崎市
土地面積	7,695.19 m <sup>2</sup>	1,013.89 m <sup>2</sup>
用途地域	商業地域（建ぺい率 80%、容積率 400%）	
防火地域	準防火地域	
立地適正化計画	都市機能誘導区域（東岡崎駅周辺）	
交通アクセス	車 東岡崎 IC より 7 分 ・ 徒歩 名鉄東岡崎駅より 7 分	

※用地の一部は、民間施設（ホテル等）の敷地として、市が民間に有償で貸し付けることを想定しています。

※サウンディング調査（民間との対話を通じた市場及び参入意向調査）の結果等を踏まえて、周辺民有地の活用についても土地所有者との調整を継続します。

### 5 本事業において実現を目指す主な機能

	機能	主な内容
①	コンベンション施設 （公共機能） ※民間機能との複合化を誘導	▶ホール機能・・・1000～1200 m <sup>2</sup> （用途に応じて分割使用可）。 例：会議、研修、式典等 ⇒ 400～500 m <sup>2</sup> 。300～500 人に対応。 レセプション、懇親会、食事会等 ⇒ 600～700 m <sup>2</sup> 。円卓 300 人または立食 500 人に対応。 例：ホール全体を使用した場合 ⇒ 会議等 1000 人 又は 立食 800 人。 ▶会議室機能・・・概ね 300 人を分散して収容できる中小複数の会議室。
②	ホテル機能 （民間機能）	▶利用客への上質なおもてなし機能を有し、歴史ある都市の風格にも配慮したホテルを誘導。
③	駐車場機能 （公共機能・民間機能）	▶立地や施設の特性を考慮した適正な規模の駐車場機能を確保。 （立地や施設の特性・・・主要駅に近く公共交通が充実していること、ホールは 300 人未満の利用が多くなる見通しがあること、アルコールを伴う催事が多く見込まれること、周辺に民間の時間貸駐車場が複数あることなど）
④	アクティビティ等支援機能 （公共機能・民間機能）	▶シャワールーム機能、ロッカールーム機能。 ▶堤防面からのアクセスに配慮した飲食機能（カフェレストラン等）。 ▶各種アクティビティ支援機能（予約・受付機能など）。
⑤	乙川エリアの魅力向上機能 （公共機能・民間機能）	▶事業用地と河川堤防をつなぐ人工地盤（デッキ）を活かした交流機能。 ▶本事業を担う民間事業者が乙川かわまちづくり協議会等と連携し、河川区域で多彩な事業を展開。河川空間を利用した魅力的なサービスの提供により、乙川エリア全体の魅力や価値の向上を目指します。

※施設の規模や仕様の詳細は、民間提案を踏まえた検討を行います。

### 6 事業スケジュール

本事業の実施に際して、コンベンション施設の整備には PFI や指定管理者制度を、ホテル等の誘致には市有財産貸し付け等の公民連携手法を想定した場合、事業想定スケジュールは以下のとおりです。

- ▶2018年度 サウンディング調査、地元意見交換、企業アンケート、基本計画策定ほか
- ▶2019年度 事業者募集ほか
- ▶2020年度～ 設計、解体工事ほか
- ▶2021年度～ 建設工事ほか

▶2022年度末（2023年春）開業へ。詳細な時期は未定。

※市民の皆様や市議会等への説明・情報提供についても並行して行います。